

精神看護学実習

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	3	区分・時間数	実習 75 時間
期 間	後期		
単 位 数	2 単位		

・学習方針（講義概要等）

精神疾患患者にかかわり、セルフケアの視点でその人の体験、病態や症状、生活上の問題等を統合して理解するとともに、対人関係のプロセスを通して看護援助を行う。また精神科病棟、精神科デイケアや地域で行われているさまざまな治療的なアプローチを学び、多職種の役割や精神疾患患者が利用できる社会資源について知る。さらにセルフケア能力を高め、自立に焦点を当てた具体的な看護援助方法を考え、精神科における看護の役割を理解する。

・教育成果（アウトカム）

精神障害をもつ人にかかわることにより、これまでに学修した知識の深化をはかる。また実際の援助場面や治療的なアプローチを見学し、指導者、教員の指導により部分的に体験することにより、その意義や課題を見出すことができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマポリシー：1, 2, 3, 4, 5, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 精神障害をもつ人の価値観や人権を尊重しながらかかわり、援助関係を築くことができる。
2. 精神障害を持つ人の病態や症状、生活上の生きにくさ及びストレスをふまえて全体として理解することができる。
3. 対人関係のプロセスを通して、生活援助の実践ができる。
4. 病院や地域で行われているさまざまなアプローチを学び、精神障害をもつ人を取り巻く多職種の役割や連携を知り、社会のなかでどのように支えられているかについて理解できる。
5. 実習全体を通して、その学びをまとめることができる。

・ 授業日程

【実習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
各グループの実習期間は、実習要項等に記載する。			地域包括ケア講座	遠藤 太 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師	<p>病院・デイケアにおいて実習し、精神障害をもつ人々とのかかわりを持つ。かかわることによりその人々の苦しみやそれに耐える生活、それにより感じている困難さを知ることができるように支援する。また関係を築きながら、生活援助の視点でどのようなかかわりが可能か考えられるよう促す。さらに精神障害を持つ人々の病棟や外来、精神科デイケアなど地域で行われているさまざまな治療的アプローチの実際を見学することにより、その意義や多職種役割について知り、医療チームの中で看護師が発揮する役割について学ぶ。</p> <p>1 実習オリエンテーション ・実習目標と実習環境、実習方法、実習チーム編成等を理解する。</p> <p>2 病棟実習 ・精神科病棟の治療構造、人権擁護、入院形態、患者構成、看護体制等を理解する。 ・患者、家族との関係性の確立を図る。 ・情報収集と関係性のアセスメントを実施する。 ・患者との相補的なコミュニケーションを記録する。 ・</p> <p>3 デイケア実習 ・地域で行われているさまざまな治療アプローチについて理解する。 ・患者ケアを通して、多職種の連携を理解する。 ・精神障害をもつ人を支える、社会のしくみについて理解する。</p>

			<p>4 最終カンファレンス</p> <p>・実習での体験を自由に発表して、互いの学びを共有し、看護実践を振り返る機会とする。</p> <p>*詳細は実習要項に記載する。</p>
--	--	--	---

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 第5版	武井麻子、他著	医学書院	2018
教	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [2] 精神看護の展開 第5版	武井麻子、他著	医学書院	2018

・成績評価方法

精神看護学実習評価表に基づき評価する。なお評価は実習中の学生の患者の方やスタッフへの対応、記録、カンファレンスの参加態度等により総合的な評価を行う。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

精神看護に関する基本的知識について課題を出す。課題について、疑問に思ったこと、分からないことについては、そのままにせず教科書や学習レポートを用いて調べたり、質問したりすること。精神看護学演習で行った、ケアの方法について確認し実施できるように準備すること。これらの事前学修時間は最低30分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

提出された記録は、評価後、適宜コメントを付し返却する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表3）：臨地実習 専門分野Ⅱ 精神看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習要項に記載する。			